

記入例 児童相談所からあっせんを受けた里子を特別養子とする場合

申立書を提出する裁判所（養親となる者の住所地の家庭裁判所）

作成年月日

受付印		特 別 養 子 縁 組 申 立 書	
		(この欄に収入印紙 800 円分を貼ってください。) 印 紙 (貼った印紙に押印しないでください。)	
収入印紙	円		
予納郵便切手	円		

準口頭	関連事件番号	平成	年(家)	第	号
-----	--------	----	------	---	---

☐ 家庭裁判所 御中 平成 ☐ 年 ☐ 月 ☐ 日	申立人 〔養親となる者〕 の記名押印	甲山 一郎 甲山 花子	印 印
---	--------------------------	----------------	--

添付書類	(同じ書類は1通で足りす。審理のために必要な場合は、追加書類の提出をお願いすることがあります。)
	☒ 養親となる者の戸籍謄本(全部事項証明書)
	☒ 養子となる者の戸籍謄本(全部事項証明書)
	☒ 養子となる者の実父母の戸籍謄本(全部事項証明書)

申立人 (養親となる者) ら	本籍 (国籍)	都道府県 ☐ ☐ 市 ☐ 町 ☐ 番地
	住所	〒 - 電話 () ☐ 県 ☐ 市 ☐ 町 ☐ 丁目 ☐ 番 ☐ 号 ☐ パート ☐ 号 (方)
	フリガナ氏名 (養父となる者)	カヤマ 一郎 昭和 年 月 日生 (歳)
養子となる者	本籍 (国籍)	都道府県 ☐ ☐ 市 ☐ 町 ☐ 番地
	住所	〒 - 電話 () ☐ 県 ☐ 市 ☐ 町 ☐ 丁目 ☐ 番 ☐ 号 ☐ パート ☐ 号 (方)
	フリガナ氏名	カヤマ ハナ子 昭和 年 月 日生 (歳)
養子となる者の父	本籍 (国籍)	都道府県 ☐ ☐ 市 ☐ 町 ☐ 番地
	住所	〒 - 電話 () 不詳(最後の住所) ☐ 県 ☐ 市 ☐ 町 ☐ 丁目 ☐ 番 ☐ 号 (方)
	フリガナ氏名	カヤマ 太郎 昭和 年 月 日生 (歳)

平日の日中に連絡のつく番号を記入してください(携帯電話でも構いません。)

裁判所から連絡がとれるように正確に記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。

養子となる者の母	本籍 (国籍)	〇〇 都道 府 県 〇〇市〇〇町。番地	
	住所	〒 〇〇〇 - 〇〇〇〇	電話 〇〇 (〇〇〇〇) 〇〇〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町。丁目。番。号 (〇〇〇〇 方)
	フリガナ 氏 名	オキカワ アキエ 乙川 秋江 昭和 平成 〇 年 〇 月 〇 日生 (〇〇 歳)	
※1	住所	〒 -	電話 () (方)
	フリガナ 氏 名		昭和 平成 年 月 日生 (歳)
※1	住所	〒 -	電話 () (方)
	フリガナ 氏 名		昭和 平成 年 月 日生 (歳)

申 立 て の 趣 旨
養子となる者を申立人らの特別養子とするとの審判を求める。

申 立 て の 理 由			
※2	1. 申立人兩名は平成〇年に結婚し、子どもが欲しいと願っていましたが、実子に恵まれず、検査の結果でもその見込みは無いとのことでした。 2. 平成〇年〇月、〇〇児童相談所に里親登録をしました。 3. 養子の出生当時、その両親は既に離婚しており、実母は若年で定職もなく、生活力が乏しく、実父も行方不明となり、養子は乳児院に収容されました。 4. 申立人兩名は養子を里子としていますが、同人は健康であり成長発育に何ら問題はなく、申立人らになつき、家族の一員として十分親和しています。		
(2) 申立人らの生活状況等	職業 (勤務先)	〇〇 株式会社	主婦
	収入等	月収(平均) 〇〇 万円くらい 主な資産等 預金200万円、有価証券	月収(平均) 〇 万円くらい 主な資産等 預金100万円
	子の有無	① 無 2 有 (男 人, 女 人)	① 無 2 有 (男 人, 女 人)
	婚姻の日	昭和 平成 〇 年 〇 月 〇 日	
	住宅事情	1 自宅 ② 社宅等 3 アパート 4 借家 5 その他 ()	
	申立人、養子となる者以外の同居家族等	甲山秋子(申立人一郎の母, 65歳)	

この申立てをするに至ったいきさつや事情を分かりやすく記入してください。

(注) 太枠の中だけ記入してください。
特養 (2/3)
すでに養子縁組をしている養子がいる場合は、その養子も含めた人数を記入してください。

※3	(3) 縁組のあっせんを受けた機関等	住所 (所在地) 〒0000-0000 電話 00 (0000) 0000 00県00市00町0丁目0番0号 氏名 又は 名称 00児童相談所
※4	(4) 申立人らによる養子となる者の監護状況	監護の有無 (申立時) ① 有 監護開始年月日 平成0年0月0日 (監護開始時の子の年齢 2 歳 10 月) 2 無 監護の経緯 (1) 記載のとおり 監護状況等 養子の健康状態は、たまに風邪をひくことはあるものの、おおむね良好である。申立人らは養子も実子同様に扱い可憐いがると同時に年齢に応じたしつけもするよう心掛けている。養子の心身の発達状況は順調であり、良好な家族関係が形成されている。
※5	(5) 縁組同意の有無等	父 ① 有 (同意を得られない事情) 現在所在不明となっておりその意向を知ることはできません。 ② 無 母 ① 有 (同意を得られない事情) 2 無

(注) 太枠の中だけ記入してください。

記入要領

- ※1 養子となる者に実父母のほかに養父母がある場合には、それぞれについて、養子となる者に未成年後見人、父母以外で親権を行う者(父母が未成年者であるときのその父母又は未成年後見人、審判前の保全処分によって選任された親権者又は未成年後見人の職務代行者、児童福祉法第47条第1項又は第2項の児童福祉施設の長等)又は監護者がある場合には、これらの者について、()内に養子となる者との関係を特定した上、所要事項を記入してください。
- ※2 申立ての動機、経緯のほかに、ア 養子となる者の出生の経緯、生活歴及び心身の状況(出生時の状況、申立人と同居するまでの家庭環境、監護状況等)、申立人と同居するまでの病歴、健康状態、心身の発達状況等)、イ 父母の家庭状況及び経済状況(家族構成、家庭の人間関係、生活態度、資産、収入等)、ウ 未成年後見人、父母以外で親権を行う者、監護者の縁組についての意向等について記入してください。
- ※3 児童相談所又は養子縁組をあっせんする事業を行う者からあっせんを受けた場合に記入してください。なお、審判の結果は、当該機関等にも通知されます。
- ※4 「監護の有無」について、「2 無」に○を付けた場合には、監護開始予定年月日を記入してください。「監護状況等」については、養子となる者に対する保健衛生上の配慮、教育的関心及び配慮等、養子となる者との感情的交流及び親密さの程度、養子となる者の心身の発達の経過、同居後の家庭の人間関係と雰囲気、今後の監護教育についての意向等を記入してください。
- ※5 「同意を得られない事情」中には、民法第817条の6ただし書に規定する場合に該当することを示す事情も記入してください。